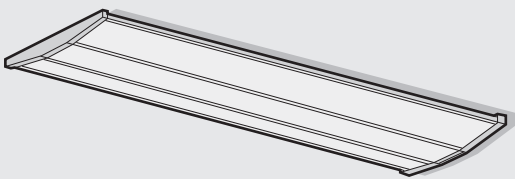


# SHARP®

## ストレート型LED照明 (屋内用)

### 工事説明書 および取扱説明書



形名

# DL-N036N DL-N037N

(ストレート型 乳白パネル)

### 断熱施工不可

#### お客様へ

- この器具の施工には電気工事士の資格が必要です。取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

#### 工事店様へ

- 工事が終了しましたら、本説明書は、必ずお客様へお渡しください。

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

本説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

本説明書(保証書付)は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

## 安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。

■表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

**警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

**注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分しています。

**禁止** してはいけない「禁止」内容です。

**強制** 必ずしなければならない「強制」内容です。

### お客様へ 使用上のご注意


#### 警告

- 器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけない。(火災の原因)
- 被照射物と器具は50cm以下に近づけない。とくに絹、皮、布地など「色落ち」のおそれがある物に照射する場合は注意が必要。(被照射物の火災、変色、褪色の原因)
- 取り付けは、お買いあげの販売店、または専門業者に依頼する。(ご自身で取り付け工事をされ不備があると、感電、火災、落下の原因)
- お手入れの際は、必ず電源を切る。(感電の原因)
- 煙、臭いなどの異常を感じたら、すぐに電源を切る。(感電、火災の原因)  
工事店、お買いあげの販売店にご相談ください。

#### 注意

- 器具を水洗いしない。(感電、故障の原因)
- 金属部分をクレンザーやたわしで磨かない。(傷つけたり、サビの原因)
- 器具を洗剤や薬品などで拭いたり、殺虫剤をかけたりしない。(器具の破損、落下、感電などの原因)
- 器具の下にストーブ、コンロなどの発熱物を置かない。(火災、落下、器具の変形、LED短寿命の原因)
- LED点灯時、および消灯直後は器具に触れない。(高温のため、火傷の原因)
- 器具の一部が破損したまま使わない。(落下、ケガの原因)
- 器具を清掃する際は、乾いた柔らかい布か、水で湿した柔らかい布をよく絞ってから拭く。(感電、故障の原因)

## 警告

- 

●この器具は、アンカーボルト吊り下げ専用器具です。木ネジなどによる天井、壁面には取り付けられない。  
(指定以外の取付をおこなうと器具落下の原因)

---

- 器具を改造したり、部品を変更して使うことは絶対にやめる。  
(器具落下、感電、火災の原因)

---

- 工事、修理のとき以外は分解しない。  
(器具落下、感電、火災の原因)

---

- この器具は湯気、湿気が多い場所、および直接雨が掛かる場所では使えません。  
(湯気の進入による絶縁不良、感電の原因)


---

- 器具の送り容量は13Aです。  
(容量を超えると発熱、火災の原因)

---

- 器具に他の加重をかけない。  
(落下、感電、焼損の原因)

---

- 

●器具の取り付けは、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および、本説明書にしたがう。  
(取り付けに不備があると器具落下、感電、火災の原因)

---

- 取付方向は、本説明書にしたがって正しく施工する。  
(感電、火災、ケガの原因)

---

- 器具の取り付けは、重量(約4.2 kg)に十分耐える所に確実にこなう。  
(取り付けに不備があると器具落下の原因)


---

- 電源接続線は、本説明書の「器具の取付方法」にしたがって、付属の保護チューブを必ず使う。  
(端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじって挿入すると接続が不完全となり、発熱、火災の原因)

---

- 交流電源をご使用ください。  
電源周波数は50Hz、60Hz共用です。  
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている電圧±10%内で使う。  
(間違ってしまうとLED電源ユニット、器具などの短寿命、火災の原因)

## 注意

- 

●一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、振動のある場所、腐食性ガスの発生する場所では使わない。  
(感電、落下、サビの原因)

---

- 軒下、屋外側通路などの雨の吹き込みを受ける場所では使わない。  
(感電、落下、サビの原因)

---

- この器具は調光器との併用はできません。  
(DL-N036N)  
(誤って使うと動作不良の原因)


---

- 器具を密閉した空間に設置しない。  
(発熱、LED短寿命の原因)

---

- 濡れた手で器具を取り扱わない。  
(感電、故障の原因)

---

- 

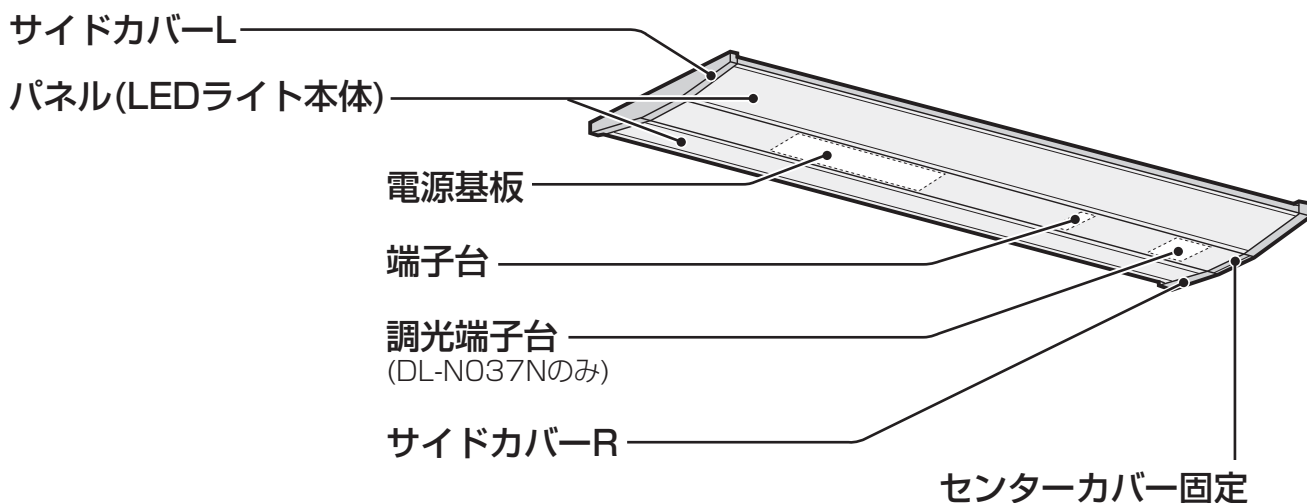
●周囲温度は、5～35℃の範囲で使用するように設計しています。  
(高温で使用すると火災、LED短寿命の原因)

## お客様/工事店様へ お願い

- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますが異常ではありません。
- LED光源は経年変化により同一形名商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がありますが、異常ではありません。
- 喫煙による煙や、ほこりの多い場所では、気流により器具の周りに汚れが集中することがあります。器具の明るさを保つためには、本体パネルの定期的な清掃をおすすめします。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は、照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- 同時通訳などの誘導無線をご使用になる場合、雑音が入ることがあります。
- 安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 照射距離が近い場合や照射面などによって光ムラが気になる場合がありますのでご了承ください。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検、交換をおすすめします。1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。(設計上の寿命は、周囲温度30℃で4万時間です。周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります)
- LED光源の交換はおこなえない構造のため、光源寿命を迎えた場合は器具全体の交換となります。(器具交換には電気工事士の資格が必要です。交換作業は必ず工事店に依頼してください)

- お手入れ**
- 汚れ落としは水またはぬるま湯を用い、汚れが落ちにくいときは中性洗剤(例えば台所洗剤)の1~2%の水溶液を用いてネルのような柔らかい布を浸し、よく絞ってから、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
  - シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、アルカリ、弱酸性、塩素系洗剤では拭かないでください。(部品の変色・劣化や感電の原因)

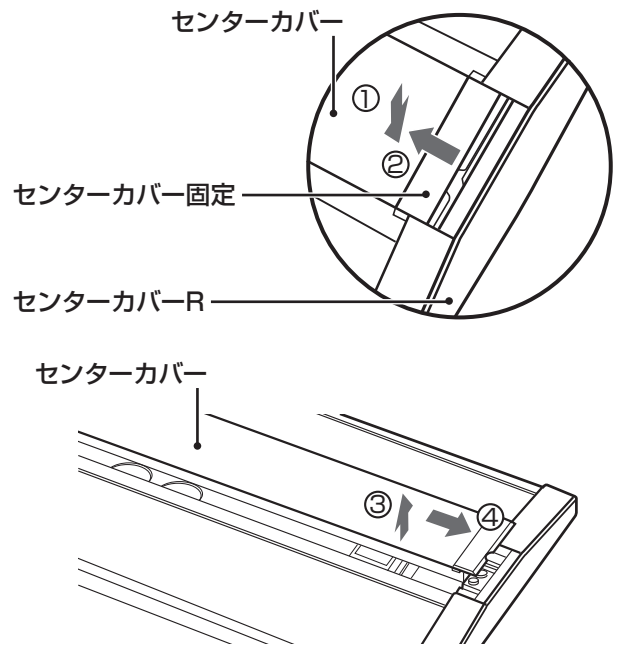
## 各部のなまえ



# 器具の取付方法

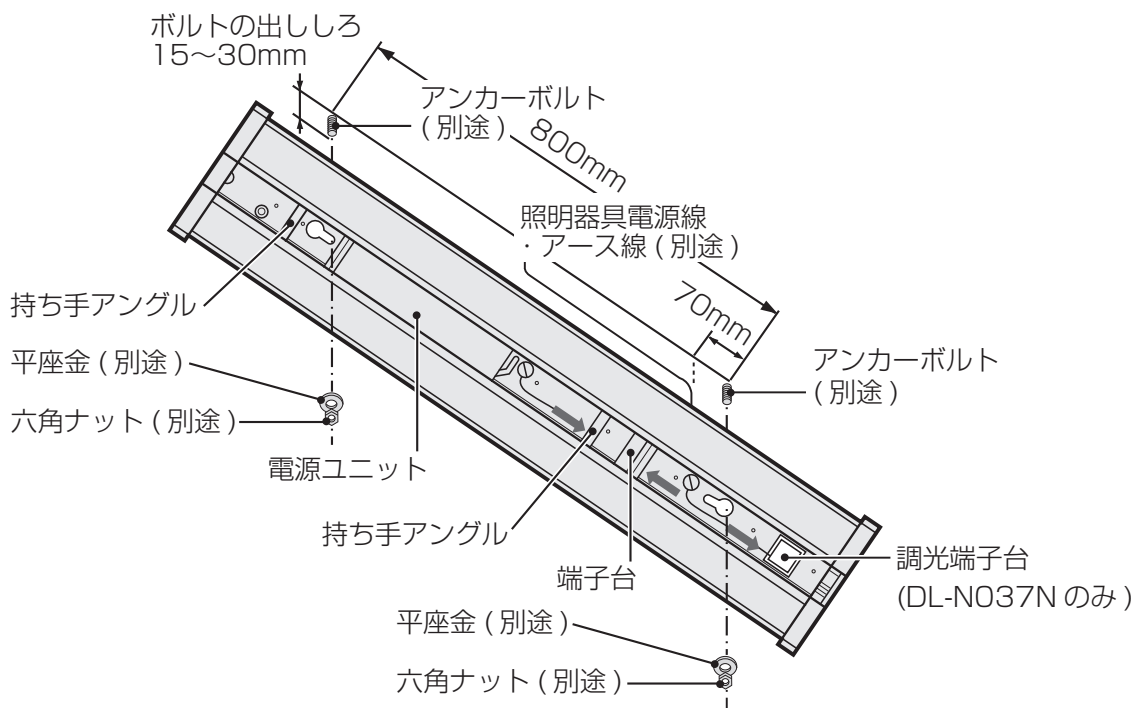
## ① センターカバーを取りはずす

- 1 センターカバーの①部を矢印方向に軽く押しながら、
- 2 センターカバー固定を②の矢印方向にスライドさせてロックをはずす。
- 3 センターカバーを③の矢印方向に引っ張り、中央部の仮固定をはずす。
- 4 センターカバーを④の矢印方向にスライドさせて取りはずす。



## ② 取り付け場所を確認する

- 1 器具の取り付け部位には、2本のアンカーボルトを800mmの間隔で施工する。
- 2 Cチャンネルあるいは、化粧天井部に取り付けの場合は取り付け面からアンカーボルトの出ししろは15~30mmで準備する。
- 3 取り付けの前に器具質量(約4.2kg)に耐えるよう、取り付け部の強度を確保する。(取り付けに不備があると、器具の落下の原因)
- 4 器具を持ち上げるときは持ち手アングル(2カ所)にて取り扱う。



### 3 調光信号を接続する

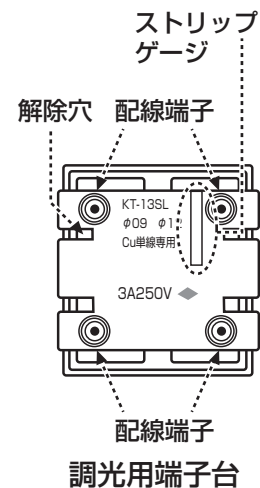
**1** 調光信号線の被覆を、調光端子台のストリップゲージに合わせて所定の長さ(10±1mm)にストリップする。  
調光信号線にはφ0.9~1.2mmの軟銅単線(FCPEV：遮へい付)を使用する。より線は使用できません。

**2** 調光端子台と調光器との間を調光信号線(2本)で接続する。調光信号線を接続する場合は、調光端子台の配線端子に芯線を確実に奥まで差し込む。

※調光端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。

**3** 調光器を使用する場合は弊社にお問い合わせください。  
(調光器の仕様により、照明器具が動作しないことがあります)

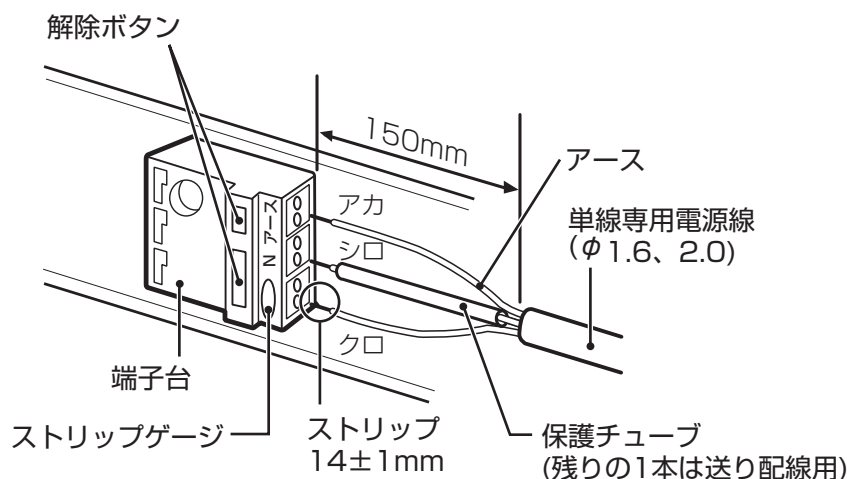
**4** 電源線をはずす場合は、必ず電源を切ってから、解除穴をマイナスドライバーで直角に押しながら引き抜く。  
(ドライバーを傾けると、調光端子台を破損するおそれがあります)



# 器具の取付方法(つづき)

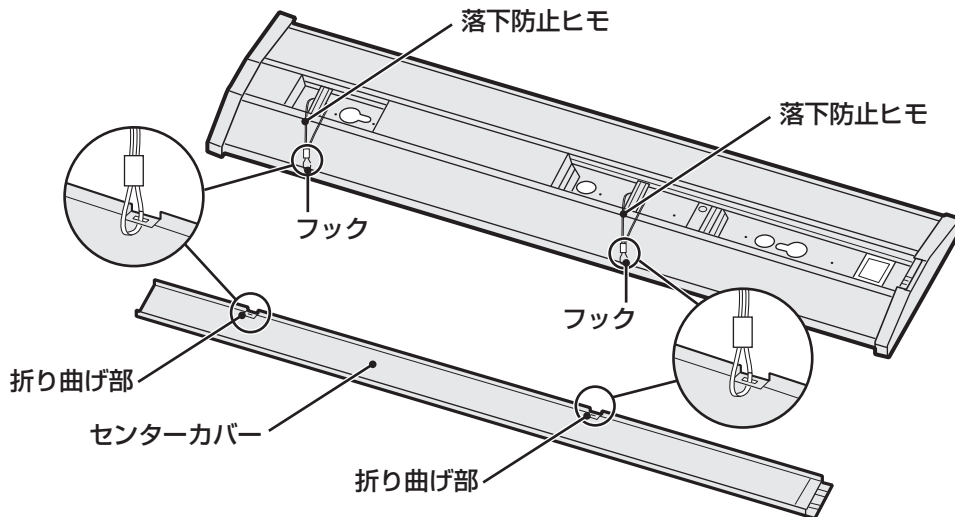
## 4 電源線を接続する

- 1 3芯ケーブルの外被をカットし、電源線、アース線をそれぞれ約150mm露出させる。  
(下図ではアース線がアカ、N側線がシロ、L側線をクロの場合を示しています)
- 2 電源線、アース線の被覆をそれぞれ、端子台のストリップゲージに合わせて所定の長さ(14±1mm)にストリップさせる。  
(適合電線はφ1.6、または2.0電線です)
- 3 電源線を付属の保護チューブを使用して(端子台の「N」に接続する電線のみ)、下図に示すように端子台の挿入面に垂直に奥まで確実に差し込む。  
(一度引っ張り、接続の確認をしてください)  
※端子台へ差し込む際、芯線部を曲げたり、ねじった状態で差し込まないでください。  
(感電、火災の原因)  
(残り一本の保護チューブは送り配線用です。端子台の「N」に接続する線のみを使用する)
- 4 アース線を用いて、D線(第三种)接地工事を施す。(不完全な場合には感電の原因)
- 5 送り配線は、付属のチューブを使用して(端子台の「N」に接続する電線のみ)、端子台の挿入面に直角に奥まで確実に差し込む。送り配線は照明器具専用です。  
※送り容量は、端子台表示にかかわらず13A以下(19台が目安)で使用します。
- 6 電源線をはずす場合は、必ず電源を切ってから、解除ボタンをマイナスドライバーなどで強く押しながら引き抜く。



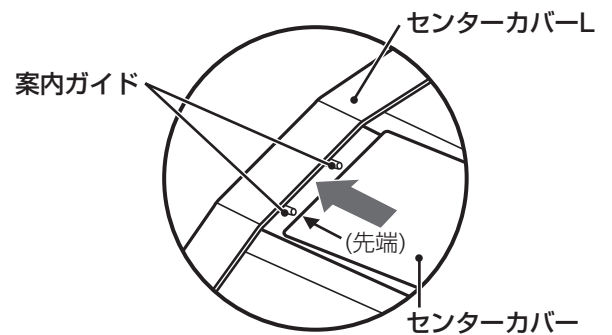
## 5 センターカバーの落下防止

センターカバーの折り曲げ部2カ所の穴に、落下防止ヒモ先端のフックを図のように通す。

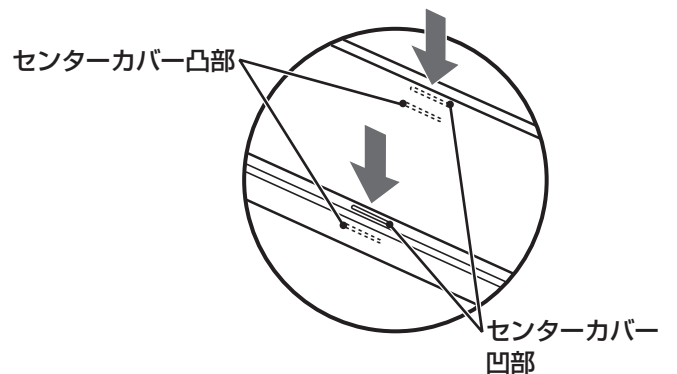


## 6 センターカバーを取り付ける

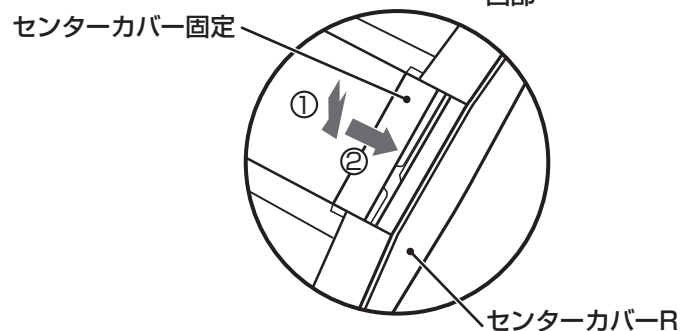
1 センターカバーの先端をサイドカバーLの「案内ガイド」に沿わせて、矢印方向に当たるまで押し込む。



2 センターカバーの中央部の両サイドを図の矢印方向(天井方向)へ押し込む。



3 センターカバー固定を図の矢印方向にスライドさせて固定する。軽く①の方向(天井方向)に押しながら、②の方向にセンターカバー固定の先端が、サイドカバーRに当たるまでスライドさせる。



# 保証とアフターサービス

## 修理を依頼されるときは

お買いあげの販売店(工事店)にご相談ください。  
ご相談の場合は、右に記載の内容をお知らせください。

- 品名: LED照明
- 形名: (保証書に記載の形名)
- お買いあげ日(年月日)    • 故障の状態(具体的に)
- ご住所(付近の目印も合わせてお知らせください)
- お名前    • 電話番号    • ご訪問希望日

### 保証書(一体)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店(工事店)名」などの記入をお確かめのうえ、販売店(工事店)から受け取ってください。  
保証書は、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間…お買いあげの日から本体は1年間です。  
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

### 保証期間中

- 万一故障が起きた場合は、保証書を添えてお買いあげの販売店(工事店)までお申し出ください。

### 保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 補修用性能部品の保有期間

- 当社はLED照明の補修用性能部品を製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## カタログ請求または、商品に関するご相談は



フリーダイヤル

**0120 - 50 - 8562**

携帯・PHS OK

(携帯電話・PHSからもご利用いただけます)

FAXの場合

06-6792-5993

■フリーダイヤルがご利用できない場合は 06-6792-1582

■ご相談受付時間(年末年始を除く)

月曜日～金曜日/午前9時～午後5時(平日のみ)

## 点検のおすすめ

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯。(JIS C8105-1解説による)
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検をおこなってください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙、発火、感電、落下などに至る場合があります。



# 仕様

項目		形名
		DL-N036N/N037N
光源部	光源	高効率白色LED
	色温度	4,600K
	全光束	4,800lm
電源部	電源電圧	AC100V/200V 50/60Hz
	消費電力	58W(AC100V)/57W(AC200V)
本体	材質 (表面処理)	本体：塗装鋼板
	パネル	乳白色
	寸法	1250mm(長さ)×255mm(幅)×44mm(厚さ)
	質量	DL-N036N 約4.1kg DL-N037N 約4.2kg
設置方法		800mmピッチ アンカーボルト吊り下げ
使用温度範囲		5~35℃
使用周囲湿度		85%RH以下
設計寿命		LEDモジュール：約10年

## DL-N037N限定

調光仕様	調光制御系統	外部制御信号入力端子台具備
	調光制御信号搬送波	1KHz±50Hz
	調光制御信号振幅	11V±2.5V
	消灯機能	有(Hiベタ信号受信時)
	信号未受信時	100%点灯
	調光可能範囲	5%~100%

※寿命は設計値であり、保証値ではありません。

(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯時)

使用条件、取付条件により変化します。

また、LEDモジュールの寿命は初期の全光束の80%以上を維持する期間になります。

## ● 付属品 …………… 保護チューブ(2本)

### ● 印刷物付属品 本説明書(保証書付)※

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

# 施設用 LED 照明器具安全チェックシート

## ⚠ 安全に関するご注意

### ●照明器具には寿命があります。

設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。

安全、省エネ、地球環境のために、寿命が近い照明器具は早めに点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合等は寿命が短くなります。

●1 年に 1 回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。

点検せずに長期間使い続けると、まれに落下、感電、火災などに至る場合があります。

下欄の安全点検項目について点検し、該当する場合は点検結果欄に✓印を記入し処置手順にしたがってください。

安全点検項目	点検年月／点検結果				処置手順 (✓印がある場合は)
	年	月	点検結果	点検結果	
1 累積点灯時間が 40,000 時間以上である。					危険な状態になっています。 事故防止のためすぐに使用を中止し、新しい照明器具にお取り替えください。
2 使用期間が 15 年以上である。					
3 こげくさい臭いがする。					
4 照明器具に発煙などの形跡がある。					
5 電線類に変色、硬化、ひび割れ、心線露出などがある。					
6 配線部品などに変色、変形、ひび割れ、ガタツキ、破損などがある。					
7 照明器具単体（電源一括と非充電金属部間）の絶縁抵抗が 30MΩ 未満である。					危険な状態になっていることがあります。 事故防止のためすぐに使用を中止し、新しい照明器具にお取り替え、または継続的に点検してください。
8 分岐回路の絶縁抵抗が 0.2MΩ 未満 (200V)、又は 0.1MΩ 未満 (100V) である。					
1 使用期間が 10 年以上である。					
2 点灯までに時間が長くかかるものがある。					
3 動作したり、スイッチを入れても点灯しないものがある。					
4 チラツキが止まらないものがある。					
5 点灯時に漏電ブレーカが動作することがある。					
6 器具取付部に変形、ガタツキ、ゆるみなどがある。					
7 ここ 2～3 年、故障による取替え台数が増えている。					
8 本体などに極端な汚れ、または変色がある。					
9 カバー・パネルなどに変色、変形、ひび割れなどがある。					
10 塗装面にふくれ、ひび割れがある、またはサビが出ている。					
11 ネジなどに変色、サビ、ひび割れ、破損などがある。					照明器具が使用環境適しておらず、危険な状態になっています。 事故防止のため使用を中止し、使用環境に適した照明器具にお取り替えください。
1 照明器具周囲温度が 35℃ を越えている。					
2 照明器具に雨水がかかる。					
3 浴室など照明器具周辺の湿度が 85%RH を越えている。					
4 使用場所に腐食性ガス（温泉・塩害を含む）、または塵埃が多い。					
5 使用場所に可燃性ガスが発生する。					
6 軒下など照明器具が風の影響を受ける。（屋外用を除く）					
7 取付部に常時振動が加わっている。					
8 鑄造工場など照明器具が油煙の影響を受ける。					



# シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号  
健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

